

製品名: リン酸化 KAP1 (S824) (13F9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe05933**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:10-1:100
分子量	89kDa

抗原情報

遺伝子名	TRIM28
別名	KAP 1; KRAB associated protein 1; KRIP1; RNF96; TF1B; TIF1 beta; TIF1B; Trim28; Tripartite motif containing 28;
遺伝子 ID	10155.0
SwissProt ID	Q13263
免疫原	ヒト KAP1 の Ser824 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

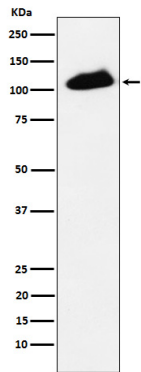
背景

KRAB ドメイン含有ジンクフィンガータンパク質 (KRAB-ZFP) の核コリプレッサー。ヌクレオソームリモデリングおよび脱アセチル化 (NuRD) 複合体のサブユニットである CHD3 と、ヒストン H3 の Lys-9 (H3K9me) を特異的にメチル化する SETDB1 を KRAB 標的遺伝子のプロモーター領域にリクルートすることで、遺伝子サイレンシングを誘導します。KRAB ドメイン含有ジンクフィンガータンパク質 (KRAB-ZFP) の核コリプレッサー。ヌクレオソームリモデリングおよび脱アセチル化 (NuRD) 複合体のサブユニットである CHD3 と、ヒストン H3 の Lys-9 (H3K9me) を特異的にメチル化する SETDB1 を KRAB 標的遺伝子のプロモーター領域にリクルートすることで、遺伝子サイレンシングを誘導します。H3K9me の増加、ヒストン H3 の Lys-9 と Lys-14 のアセチル化 (それぞれ H3K9ac と H3K14ac) の減少、および遺伝子発現をサイレンシングするための HP1 タンパク質の配置を調整することにより、転写抑制を強化します。SETDB1 のリクルートはヘテロクロマチン化を誘導します。ORM1 の転写活性化において、CEBPB と NR3C1 のコアクチベーターとしての役割を果たす可能性があります。また、ERBB4 のコリプレッサーでもあります。E2F1-HDAC1 複合体の形成を刺激し、E2F1 のアセチル化を阻害することにより、E2F1 の活性を阻害します。RB1 がいない場合、E2F1 を介したアポトーシスを防ぐための部分的なバックアップとして機能する可能性があります。CDKN1A/p21 (CIP1) の重要な制御因子です。PHD 型ジンクフィンガーを介して、自身に対する E3 SUMO タンパク質リガーゼ活性を持ちます。IRF7 を特異的に SUMO 化し、その転写活性化活性を阻害する。p53/TP53 をユビキチン化し、プロテオソーム分解を促進する。この機能は MAGEC2 および MAGEA2、そしておそらく MAGEA3 および MAGEA6 によって増強される。KOX1、ZNF268、および ZNF300 転写因子の核局在を媒介する。ZFP90 アイソフォーム 2 と結合して、FOXP3 の転写抑制活性および制御性 T 細胞 (Treg) の抑制機能に必要な (PubMed:23543754)。大腸癌 (CRC) 細胞において、活性化 KRAS を介したプロモーターの高メチル化および腫瘍抑制遺伝子 (TSG) またはその他の腫瘍関連遺伝子の転写サイレンシングに必要なコリプレッサー複合体を形成すると考えられる (PubMed:24623306)。未分化胚性幹細胞 (ESC) において、遺伝子の転写抑制状態を維持するために必要である (PubMed:24623306)。ESC においては、SETDB1 と共同して、DNA メチル化非依存経路における H3K9me3 および内因性および導入レトロウイルスのサイレンシングにも必要である (類似性による)。腫瘍抑制遺伝子 (TSG) のプロモーター領域に会合し、それらの遺伝子サイレンシングを引き起こす (PubMed:24623306)。SETDB1-TRIM28-ZNF274 複合体は、非定型クロマチンシグネチャーを持つジンクフィンガーコード遺伝子の 3' エクソンに ATRX をリクルートし、これらの転写活性領域で H3K9me3 を確立または維持 / 保護する役割を果たしている可能性がある (PubMed:27029610)。ZFP568 のコリプレッサーとして機能する (類似性による)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



エトポシド処理した HeLa 細胞における Phospho-KAP1 (S824) 発現のウエスタンブロット分析。